



ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション 開館25周年記念展 II

黒の中の色彩

— カラーメゾチントを探る



会 期 2024. 9.14 土 ▶▶▶ 12.15 日
 休 館 日 月曜日(10/14、11/4は開館、翌火曜日が休館)
 展 覧 会 ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション 開館25周年記念 II
 タイトル 黒の中の色彩 — カラーメゾチントを探る
 開館時間 平日11:00~17:00、土日祝10:00~/最終入館16:30
 第1・第3金曜日はナイトミュージアム(~20:00)
 入 館 料 大人 600円 大学・高校生 400円 中学生以下無料

主催・会場 ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-35-7

Tel_03-3665-0251 Fax_03-3665-0257

Mail_musee@yamasa.com

アクセス_東京メトロ半蔵門線[水天宮前]3番出口そば

東京メトロ日比谷線[人形町]A2出口徒歩8分

首都高速箱崎IC[浜町出口]または[清洲橋出口]T-CAT駐車場前

<https://www.yamasa.com/musee/>

誰 も見たことのなかった色合いをこの世界に生み出す。

それは芸術家の見果てぬ夢に違いありません。

20世紀後半、浜口陽三は、銅版画によって成し遂げました。

それは闇から浮かぶ、柔らかな色彩でした。

この展覧会では、浜口陽三の銅版画と共に、
その色を生む技法について映像と刷りの体験で紹介します。
現実の世界にはありそうでない色を、ゆっくりとご覧ください。

展覧会アドバイス：中林 忠良（東京藝術大学名誉教授）



《4つのさくらんぼ》“Four Cherries” 1963年 カラーメゾチント 23.3×54.2cm

カラーメゾチント

メゾチントは17世紀にオランダで発明された印刷技術。黒の濃淡を彫り加減で表現します。カラーメゾチントは、黄、赤、青、黒のメゾチントによる版を作り、刷り重ねて作る方法。最小限の色数で、すべての色彩を、やわらかな質感で表現します。

浜口 陽三

1909年和歌山県生まれ。1930年、東京美術学校の彫塑科を2年で中退し、フランスに渡る。第二次世界大戦勃発により帰国する1939年秋まで、現地で油彩、水彩、版画を制作。1950年頃から東京で銅版画に本格的に取り組み、1953年に再びパリに赴く。1955年頃、銅版画の新しい技法、カラーメゾチントを開拓し、その技法を使った作品により、国際コンクールで次々と受賞歴を重ねて活躍。1981年サンフランシスコに移住し1996年に帰国。2000年逝去。

原色のインクで、柔らかな中間色が生まれる不思議。
浜口陽三とカラーメゾチントに関する
楽しい企画をご用意してお待ちしています。

色

今回のために、パリで浜口の原版を刷りました。
21世紀のカラーメゾチントの技術をご覧ください。

協力: Idem Paris(イデム・パリ)、Patrick Zenguinian氏

《パリの屋根》など、浜口の彫った版(原版)を、
武蔵野市立吉祥寺美術館の協力により展示します。
1点ずつ異なる着想や、光の加減でしか見えないほど
微かな彫り方が見どころです。

浜口が通ったパリのルブラン工房。
当時の刷り師が、もう一度、刷りを再現します。
そして浜口陽三や、在りし日の工房の思い出を、
インタビュー映像で紹介します。



出演: Patrick Zenguinian(浜口陽三の刷り師)
Jocelyne Lallier(ルブラン工房主の奥様)
聞き手: Joëlle Roseman(陽三友人の奥様)
映像制作: Jean-Charles Guichard
(オリジナル・コンテンツ・プロデューサー/
チーフ・オペレーター TF1-フランス2-Canal+)
2024年8月

映像

現代の銅版画家によるチャレンジ

モノクロの作品を発表しているメゾチント作家
お二人に小さなカラーメゾチントにチャレンジ
していただきます。

多胡 宏

群馬県生まれ

1980年 筑波大学芸術専門学群卒業

版画「期待の新人」作家大賞展などで入賞 日本版画協会会員

佐竹 広弥

神奈川県生まれ

2014年 東京藝術大学大学院美術研究科修士課程 版画専攻 修了

現在 銅夢版画工房講師、女子美術大学短期大学部 非常勤講師

体験

銅の手触り、構図遊びなど、
作品に近づくための体験型コーナーもあります。
さらに興味を持った方は、四色の刷り体験(下記イベント1)をどうぞ。

Events

1 気軽にカラーメゾチント体験

初心者向けの「刷り」のワークショップ。色の重なりを楽しめます。
会期中の水曜と土曜 ①13:00~②14:30~③16:00~
所要時間:約60分、材料費1200円

2 トーク:カラーメゾチントを見つめる

版画工房カワラボ!の河原正弘氏に浜口陽三の版を見ながら、色や技法について語っていただきます。
開催日時:11月9日(土)14:30~ 参加費:入館料のみ 定員:45名(先着順)

3 銅版画メゾチント体験教室

1回の講習で製版から刷りまでを行う初心者向けの教室です。
ポストカードサイズの作品を作ります。講師:江本創
開催日時:10月27日(日)
【午前の部】10:00~13:00 【午後の部】14:00~17:00
参加費:2000円 定員:各回10名
持ち物:12×7.5cmの下絵、汚れてもいい服装またはエプロン



イベント1のイメージ

イベント1・3 お申込み方法

9月17日(火)12:00より電話にて(先着順)
(03-3665-0251)

開館時間での受付です。
ご希望のイベント番号と時間をお伝えください。

プレスリリースご担当者様

開館25周年の特別展、時間をかけて
手仕事で表現する銅版画の技法を紹
介します。ご取材よろしくお願ひします。
封筒をご提示いただくと、同伴者一名
様まで無料でご覧になれます。

〈プレスリリース問合せ先〉
メール musee@yamasa.com
TEL 03-3665-0251
FAX 03-3665-0257
(広報担当:下澤)